

てんや新聞

18.4.No250
発行所 岡山県
責任者 岡田 誠
0883-88-5292

楽しい
楽しい
三月

楽しい
楽しい
三月

三月は、ほぼ毎日 本を並べたり、整理する日々でした。

本に囲まれる生活は、私にとっては、安心できる、楽しい、嬉しい時間でもあります。時には、なかまが手に入らない様な本とあったり、ダンボール箱を開ける時ほどキドキ、ワクワクがたま。

又、帰省して荷物で本のダンボールは、今回はじめを開ける。…ひんが浦島太郎の様な気分になりました。
そんな中、心の甲にこまっていた物が出た。一日は、ちゅびり感慨にふけりました。それは、アルバムです。

ちゅびりその日には、文集と出さまじりして、より強く、ドキドキ。
「恋人は妻にする」と耳を取るけど、心の恋人は、永遠に耳を取らないに出合い、まさにその通り、アルバムをくばし見て、嬉しいやう切ないやら。

そんな場面もありました。一日、一月本が並べられ、文庫らしくくまきまきまどれだけ多くの皆さんに支えられ、協力して頂いてをかを奥感くしました。



ほんとニの所以上も本があるのです。

本ばかりではなく、こまもんいらんかえしと声かけの下下り、お金をかけはくこと、こまもんが出来るのだ。…という事を知る、ことができたりと、ほんとに幸せを感じる三月。

その上、県西部(つるぎ町事務局)の急傾斜地農業が、世界農業遺産に認定されるという大きなニュースもありました。高冷地で農業の継続が大きな課題とはいえ、地域住民が知恵と労力を出さなければ、より大きな財産にしていかなければいけません。…という様な三月。春もいつきに満開。山崩えり

今日が 250号になる

〜エキワリイケ〜
てんや新聞
やまがら文庫
ホア

4月は、やまがら文庫オムニバスと同時に「てんや新聞」が250号になりました。特別なものはないですが、毎月末から新聞作り、発送作業が習慣になりました。一九九五年五月にオムニバス発行になりましたが、自分の中では「そうかあ」といいます。毎号毎号読みなおせばその時がおもい出されたいいもんです。リターンしてからの古里祖谷での暮らこの一面がみえる様です。余り過ぎばかり振り返らず、明日にあかろく生きたいものです。とりあえお、ええええとめどして、

